



王喜の郷の輪 第9回
ケアハウス王喜の郷入居者 松本 隆様

私達は、平成25年4月に夫婦で入居しました。約12年になります。家内は要介護3でデイサービスを受けたり、ミントでお世話になりましたが、再に病気が悪化したので他の病院に転居して余生を送っていましたが、昨年亡くなりました。皆様、大変お世話になりました。

私達が入居した当時は世界的に平和でした。ケアハウスでは2ヶ月に一回誕生会があり、歌と踊りと大変賑やかでした。

書道の先生が我々14~15名に指導してくださったり、また妹さんが福岡から来てフルートを吹かれクラッシックで聴いたり、地元のローカル歌手の坂口修三さんが慰問に来られて~萩往還&桜愛の歌他2時間ばかり歌われたものもありました。

年に数回、萩市内や北九州の松本清張館や阿知須のサーカス見学等、計画してもらい、みかん・梨・いちご狩りなど楽しい事ばかりでした。

平成31年11月頃から令和2年3月頃は世相が一変してコロナ・コロナとマスク&消毒液と一緒に呼ばれ、4~5年たった今は観光大国として外国人をどしどし日本へ呼び寄せています。一方、目を世界的に見るとロシア対ウクライナをと戦っていますが、各国で戦争が起こらない様、願っています。



<能登半島地震への介護職員応援派遣の体験記③>

令和6年4月14日から4月20日まで応援派遣で金沢駅近くの病院にて3病棟(5階、6階、7階)の支援に携わりました。

初日に業務等の説明と案内をして頂きましたが、病院自体も地震で壁にヒビが入っているところもあり、そのような状況の中で24時間の点滴や酸素呼吸器を使用されている方が多くて驚きました。1月1日の地震で他の病院からの受け入れを行い、満床となり職員が不足していると聞きました。地震直後はベッドが足りずに床に布団を敷いていたときもあったそうです。患者さんの多くはオムツを使用され、自力で体を動かすことが出来ず、時間毎に体の向きを変えたり、オムツを変えたり、食事の介助の手伝いを行いました。能登に住んでおられた方の家族の面会があり、まだ自宅へ帰ることが出来ないといわれながらも、「大丈夫」と笑顔で話をされていました。患者さんに「山口から手伝いにきました。」と伝えると、「ありがとう、頑張ってね。」と笑顔で言われ、派遣に参加することができて良かったと思いました。

グループホーム王喜の郷 介護職員 安田 美紗子

王喜の郷の輪 第9回
ケアハウス王喜の郷入居者 松本 隆様

コロムビア・黄金のヒットパレード
「誰か故郷を想わざる」「この世の花」他

昭和レトロコンサート
会場：シニアハウス王喜の郷
日時：七月二十四日（水）10時
会費：無料 担当：山根

～古希と語り合ふファンタジー～
GIFT FROM SHOWA

お願い
食事の時間には事前に食堂へ降りて来ていただくようにお願いします。
ご都合が悪い場合、事務所へご連絡下さるようお願い致します。食事が要らない場合は食堂のカウンターにある欠食届の箱の中に指定の時間までに欠食届を入れて下さい。
宜しくお願い致します。
朝 8時 昼12時 夕17時30分

イズミ行きバス7月11日(木)13:00
誕生日会7月21(日)
昼食に引き継いで行います。

たんぽぽ通信

7月1日発行 209号
ケアハウス王喜の郷 令和6年7月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

例年ですと梅雨明けが待たれる今日この頃ですが、今年の夏がどんなに暑くなるか戦々恐々としています。6月25日にニコニコミーティングを持たせて頂きました。別紙で4ページございますが、お目通し頂くようにお願い致します。ケアハウスの情報は各部屋に1冊づつ「ケアハウス王喜の郷利用のしおり」を備え付けています。入居の時に渡しておりますが、住んでみないとまりも頭に入らないもので、時々ご覧ください。おわかりにならないことは職員にお聞きください。ミーティングでは様々な暮らし方の話を出して頂きました。職員に対する要望もいろいろと出して頂き慣れて行なっていることも多く、皆様にご不自由をおかけしていたと思う事も多くありました。反対に職員から利用者の皆様への要望もあり、これは直接口頭で話をさせて頂きます。今回のミーティングでは出ませんでしたが、左のページ「お願い」があります。1日3度の食事についてですが現在職員が何度もナースコールでお呼びしています。学校の時にはチャイムや鐘が鳴っていたかと思います。おかげで時間の管理ができるようになっていますので、自分自身で時間の管理をして頂きたいと考えています。時間の管理は大変大切なことです。宜しくお願い致します。 施設長 末谷千秋

〈お知らせ〉

7月のお誕生日＆行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 半夏生	2	3	4	5	6 小暑
7 七夕	8	9	10	11 イズミ行き	12	13
14	15 海の日	16	17	18	19	20
21 誕生日会	22 大暑	23	24 土用の丑の日	25	26	27
28	29 ピューティヘルパー	30	31			

*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。

**ピューティヘルパー：出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

****レトロコンサート：第4水曜日に隣のシニアハウスにて開催。午前10時~11時15分まで。参加費は無料です。

☆昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

※参加の時には事務所に声をかけてから、行かれてください。

事業所だより

<p>ケアハウス王喜の郷</p> <p>3月1日よりケアハウスの調理員として働かせていただいております。小万綾香と申します。</p> <p>ケアハウスで働くのは初めてで、不安だらけでしたがやさしく丁寧にご指導してくださるのでとても安心しました。</p> <p>また、ご入居されている皆様も配膳、下膳の時など「ありがとう」「おいしかったよ」と言っていたり、とても嬉しい気持ちになりました。</p> <p>まだまだ学ぶことが多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。</p>  <p>調理員 小万 綾香</p>	<p>王喜の郷デイサービスセンター</p> <p>7月のデイサービスは催しがたくさんあります。「七夕」では、利用者さんに短冊に願い事を書いていただきたり、色紙でたくさんの飾りを作つておられます。短冊や飾りを、皆さんの願い事が叶うよう、笹の葉に飾り付けて七夕祭りを楽しみましょう。</p> <p>7月4日には王喜小学校4年生との交流会をリモートで行います。毎年児童の皆さん元気いっぱいにクイズや演奏で、交流会に参加された利用者の皆さんもとても楽しそうに過ごされていました。今年も皆さんに楽しんで頂こうと児童の皆さんもいろいろと考えて下さっています。</p> <p>多くの方のご参加をお待ちしております。</p>  <p>生活相談員 満瀬 伸</p>	<p>グループホーム王喜の郷ライム</p> <p>色とりどりの紫陽花が梅雨のうとうしさの中で癒しを与えてくれています。</p> <p>つい先日のことです。日頃、自発的に体操などに参加されず、時々職員が一緒に手を添えて小さく身体を動かされていた入居者の方が、パプリカ体操の最後の決めポーズのバンザイをして下さったのです。思わず、もう一度全員で「バンザイ」と言って笑顔があふれました。</p> <p>ライムの皆さん「絆」みたいなものを感じ、とてもうれしい瞬間でした。</p> <p>また、来月の壁紙を作成中です。紫陽花とカエルの壁紙が新しい季節で飾られることを入居者の皆さんとても楽しみにされています。</p> <p>介護職員 内田美和子</p>	<p>グループホーム王喜の郷</p> <p>地域密着型サービス事業所 グループホームでは、偶数月に運営推進会議を行っています。今回は6月19日(水曜日)に開催し、入居者とそのご家族、地域の方、包括支援センターの方など参加して下さいました。利用者の状況や報告、取り組みについて発表しました。</p> <p>入居されている皆さんも同じフロアで過ごされ、緊張した様子が伺えました。地域の方から「知っている人がいるので声をかけてもいいですか。」と言われ、お話をしてくださいました。入居されている方も懐かしく嬉しそうに会話をされていました。運営推進会議で日頃と違う雰囲気を感じておられる中で、和んだひとときでした。いろいろな催しを企画し、利用者の心身の健康づくりにつなげていきたい思います。</p> <p>管理者 野平 千加子</p>
<p>王喜の郷居宅介護支援センター</p> <p>6月22日(土)下関市老人福祉施設職員レクレーション大会(ボーリング)に初参加しました。80名以上の参加者がおり、ボーリングを楽しみながら、お互いの仕事に関する意見交換を行いました。3人一組のチーム戦と個人戦、法人戦で順位が付き、景品がもらえるとの事で、楽しみながら頑張りました。ボーリングのスコアは第一ゲーム179、第2ゲームは124で個人4位、チームは準優勝でした。</p> <p>スペヤやストライクを取るたびに、チーム内でハイタッチをしてみんなで喜び合っており、非常に良い雰囲気でボーリングを楽しむことができました。改めて、他者と楽しみを共有することの大さを学ばせていただきました。</p>   <p>介護支援専門員 中西 威</p>	<p>王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか</p> <p>暑い日があったり曇ってじとじとして気温が下がったりと不安定な毎日が続き体調を崩される方がいらっしゃいます。熱中症予防として水分はこまめに摂取をお願い致します。</p> <p>コロナも以前に比べるとだいぶ、落ち着いてきているとはいえ、まだ油断はできません。感染症対策として消毒、手洗い、うがい、マスク等の対応は引き続きご協力をお願い致します。</p> <p>皆さまが安心して生活が、継続できるようにヘルパーとして日々の支援を行つたらと思っています。</p>  <p>介護職員 白石真理子</p>	<p>王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷</p> <p>先月のたんぽぽ通信で紹介した玄関上の住人(燕)は無事に巣立ち、雛の鳴き声で賑やかだった玄関先是寂しくなりました。最近、別の燕が玄関前の軒下に新しい巣を作り抱卵している様子が見られ、利用者の皆さんも孵化はまだかと楽しみにしています。</p> <p>6月は朝顔の壁紙づくりを実施しました。竹のすだれを背景に葉型に色紙を切つたり、朝顔を折り紙で折つたり貼つたりと、皆さんで作業を分担し作成しました。色や形もさまざままで、日増しに葉や花が追加されたり減つたり飽きの来ない作品となっています。</p> <p>今月の23日に誕生会を予定しています。ボランティアさんが来られフラダンスを披露して下さい。ハワイのリズムで優雅な時間をお楽しみ下さい。</p> <p>介護職員 三好 将義</p>	<p>放課後等デイサービス さくら</p> <p>さくらでは、6月に入ってシャボン玉遊びが流行となっています。シャボン玉を作る道具を自分が使いたい一心で、「僕が(私が)ずっと使う」と言う声がよく耳に入ります。同じ物が溢れていると、こういった話もないと思いますが、一つの共有物を皆で使うという経験はとても大切なことだと思います。皆で使う物だから「順番に使う」「ルールを守って使う」「次に使う人の為に大切に使う」さくらでは、これらの事を子ども同士で物の取り合いが起つた時には必ず確認するようにしています。</p> <p>子ども達が大人になっても、皆が使う公共の物を大切に扱えるように。次に使う人が気持ちよく使えるように使う。といった事が出来るように成長していってもらえると良いなと思います。</p>  <p>さくら支援員 塩谷 一雅</p>